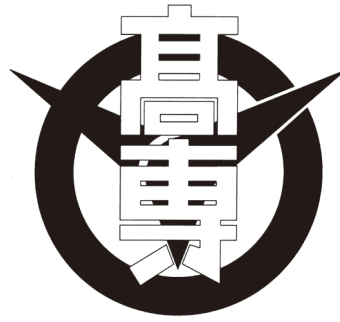


令和7年度  
学生募集要項  
入学案内



区分	WEB出願期間	出願書類受付期間	試験日（選抜期日）	合格発表
推薦による 選抜	令和6年12月2日(月) ～令和7年1月9日(木)	令和7年1月6日(月) ～令和7年1月9日(木)	令和7年1月18日(土)	令和7年3月4日(火) (合格内定通知:令和 7年1月23日(木))
学力検査に よる選抜	令和6年12月2日(月) ～令和7年1月17日(金)	令和7年1月14日(火) ～令和7年1月17日(金)	令和7年2月9日(日)	令和7年3月4日(火)
帰国生徒 特別選抜	令和6年12月2日(月) ～令和7年1月17日(金)	令和7年1月14日(火) ～令和7年1月17日(金) (出願資格照会期限: 令和6年12月13日(金))	令和7年2月9日(日)	令和7年3月4日(火)

※帰国生徒特別選抜の募集要項は別刷りにしています。

独立行政法人国立高等専門学校機構

徳山工業高等専門学校

〒745-8585 山口県周南市学園台

電話 (0834) 29-6233 (学生課)

FAX (0834) 29-6161 (学生課)

E-mail kyoumu@tokuyama.ac.jp (学生課)

URL <https://www.tokuyama.ac.jp/>

## 目 次

I. 入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー） .....	1
1. 求める学生像 .....	1
2. 入学者選抜方針 .....	1
II. 募集人員 .....	1
III. 入学者の選抜 .....	2
推薦による選抜 .....	2
1. 出願資格 .....	2
2. 出願期間 .....	2
3. 出願について .....	2
4. 「推薦による選抜」に合格内定とならなかった者の学力検査による選抜 .....	4
5. 選抜の方法 .....	5
6. 選抜日程 .....	5
7. 「推薦による選抜」結果の通知及び入学確約書の提出 .....	5
8. 追試験 .....	6
学力検査による選抜 .....	6
1. 出願資格 .....	6
2. 出願期間 .....	7
3. 出願について .....	7
4. 選抜の方法 .....	9
5. 選抜日程 .....	10
6. 追試験 .....	10
IV. 出願上の注意事項 .....	11
V. 合格者の発表 .....	11
VI. 入学確定者名簿の提出 .....	12
VII. 新入生修学指導説明会 .....	12
VIII. 学力検査成績の開示について .....	12
IX. 事務電算上で使用可能な漢字について .....	12
X. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して .....	13
XI. 災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への特別措置について .....	13
XII. WE B 出願手順について .....	14
XIII. 徳山工業高等専門学校入学案内 .....	16

## I. 入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー）

### 1. 求める学生像

入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー）は、本校の学習・教育目標（世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす）を達成できる能力を持った学生を入学させることです。具体的には次のような人を求めています。

- ・ 数学と理科の基礎学力が身につけている人
- ・ 信頼される技術者を目指し、コミュニケーション能力の基礎を身につけている人
- ・ 勉学や課外活動などに意欲を持って取り組んでいる人
- ・ ものづくりが好きで、社会の発展に役立ちたいと考えている人

### 2. 入学者選抜方針

推薦による選抜においては、出身中学校長が責任を持って推薦した生徒に対して、調査書及び推薦書等の提出資料の内容に加え、作文（コミュニケーション能力の基礎として日本語による表現力、ものづくりが好きであるかを評価）、目的意識・意欲などに関する一般面接（コミュニケーション能力や意欲、ものづくりが好きで、信頼される技術者を目指しているか、社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）、各学科への適性に関する適性面接（数学や理科の基礎学力を評価）の結果を総合的に評価し、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。学力検査による選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、学力検査の結果と調査書の内容を総合的に評価します。学力検査は筆記試験で、国語、英語、数学、理科、社会の5教科です。なお、数学と理科の基礎学力が身につけているかを評価するため、他の教科に比べ、数学を2倍、理科を1.5倍に換算します。また、他の教科と調査書は主に十分なコミュニケーション能力の基礎を身につけているかを評価します。

## II. 募集人員

学科名	募集人員	備考
機械電気工学科	40名	募集人員のうち20名程度は、推薦によるものとします。
情報電子工学科	40名	募集人員のうち24名程度は、推薦によるものとします。
土木建築工学科	40名	
計	120名	

### Ⅲ. 入学者の選抜

入学者の選抜は、「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」の二つの方法で行います。また、「推薦による選抜」を希望する者は、「学力検査による選抜」を併願することができます。

なお、「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」において、特定の感染症に罹患している者等を対象として追試験を実施します。詳細は「推薦による選抜」は 6 頁、「学力検査による選抜」は 10 頁を参照してください。

#### 推薦による選抜

##### 1. 出願資格

入学を志願することができる者は、次の条件のいずれにも該当し、学校長の推薦を得た者とします。

- (1) 令和 7 年 3 月に、中学校を卒業見込みの者、義務教育学校を卒業見込みの者、中等教育学校の前期課程を修了見込みの者又は文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者
- (2) 中学校又は中等教育学校の前期課程における第 2 学年及び第 3 学年（第 2 学期までの記録に基づく）の 9 教科の学業成績の総計が 5 段階評価で 72 以上の者（9 教科の平均が 4.0 以上）又は 5 教科（国語、社会、数学、理科、英語）の学業成績の総計が 5 段階評価で 40 以上の者（5 教科の平均が 4.0 以上）
- (3) 合格した場合、入学を確約できる者

##### 2. 出願期間

WEB 出願期間	出願書類受付期間	受付時間	郵送の場合の消印有効期日	留意事項
令和 6 年 12 月 2 日（月） ～令和 7 年 1 月 9 日（木）	令和 7 年 1 月 6 日（月） ～令和 7 年 1 月 9 日（木）	土日祝日を除く 9：00 ～ 16：30	令和 7 年 1 月 7 日（火）	郵送の場合は、書留にして「推薦入学願書」と朱書してください。

※年末年始休業期間（令和 6 年 12 月 28 日～令和 7 年 1 月 5 日）は問い合わせ等の対応ができません。

##### 3. 出願について

出願手続きについては、志願者による「WEB 出願サイト」での出願事前手続きの後、在籍中学校等経由で、出願に必要なすべての書類が本校に受理されたことをもって、出願手続き完了となります。

志願者は本校ホームページ（<https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/youkou.html>）から「WEB 出願サイト」にアクセスして、ユーザ登録を行う必要があります。ユーザ登録を行うことによ

て、「WEB出願サイト」上で、入学願書および受験票・写真票の作成・印刷などの出願事前手続を行うことができます。また、検定料の支払いも「WEB出願サイト」上で行うことになります。

14 頁の「**XII.WEB出願手順について**」及び本校ホームページの入試情報ページ  
(<https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/youkou.html>) に掲載している「**WEB  
出願エントリー説明書**」を参考にエントリーしてください。

(1) 提出先

徳山工業高等専門学校学生課教務係  
〒745-8585 山口県周南市学園台

(2) 出願手続及び出願書類

出願書類は、下表のとおりです。②写真票、④推薦書、⑤調査書は、在籍学校で取りまとめて提出してください。WEB出願の方法については、14 頁をご確認ください。

出願書類	留意事項
① 入学願書 ※1	「WEB出願サイト」上で必要事項を入力してください。「WEB出願サイト」上での検定料支払をもって、提出したものとして取り扱います。 <b><u>紙媒体での提出は不要です。</u></b>  出願後の志望学科の変更は認めません。「推薦による選抜」の志望学科は第一志望のみとします。合格内定とならなかった時は、この入学願書をそのまま「学力検査による選抜」に利用しますので、「学力検査による選抜」願書として第二志望まで入力することができます。
② 写真票※1	「WEB出願サイト」からダウンロードしたものをカラー印刷し、③の受験票と切り離してください。写真をアップロードしない場合は、写真（出願前3か月以内に撮影したタテ4.5cm ヨコ3.5cmのカラー写真とし、無背景・無帽かつ正面上半身のもの）を貼付してください。  合格内定とならなかった時に、学力検査において <u>岩国会場又は最寄り地等受験制度</u> の利用を希望する場合は、事前に本校に相談した上で、WEB出願画面で受験地選択時に「岩国会場」又は「最寄り地等」を選択してください。「最寄り地等」を選択した場合は、WEB出願画面の会場一覧を参考の上、会場名を入力してください。
③ 受験票※1	「WEB出願サイト」上での検定料支払をもって、提出したものとして取り扱いますので、 <b><u>紙媒体での提出は不要です。</u></b>  合格内定とならなかった時に、学力検査において <u>岩国会場又は最寄り地等受験制度</u> の利用を希望する場合は、事前に本校に相談した上で、WEB出願画面で受験地選択時に「岩国会場」又は「最寄り地等」を選択してください。  なお、受験票は試験当日に持参していただきますので、「WEB出願サイト」からダウンロードしたものを印刷し、大切に保管してください。

④ 推薦書※2	本校所定の用紙に在籍学校長が必要事項を記入してください。
⑤ 調査書 ※1※3	「山口県統合型校務支援システム」から出力、または本校 HP よりダウンロードした調査書を使用し、在籍学校長が必要事項を記入してください。
⑥ 検定料※1	16,500 円を「WEB 出願サイト」で支払処理をしてください。災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への特別措置については、13 頁をご覧ください。

※1 「推薦による選抜」の結果、合格内定とならなかった者は「学力検査による選抜」を受験するにあたり、①入学願書・②写真票・③受験票、⑤調査書、⑥検定料を再提出・再登録・再納付する必要はありません。(次項4.)

※2 ④推薦書の電子媒体様式は、本校ホームページよりダウンロードしてください。(学校で保存している過去の様式を使用しないでください。)

<https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/shiryu.html>

※3 ⑤調査書を作成する際は、以下の点をご確認ください。

- ・記入事項については、令和7年度山口県公立高等学校入学者選抜実施要領に準じて作成してください。
- ・卒業見込みの者にあっては、第3学年の第2学期までの記録に基づき作成してください。
- ・第二志願のない者は、「第二志願」の欄に「一」を引いてください。推薦による選抜を志願する者で「第二志願」の欄に記入した者は、推薦による選抜の結果が合格内定とならず、学力検査による選抜を受験した場合に考慮します。
- ・「本校の志望順位」について回答の内容は、志願者個人の合否判定には使用しません。本校は、高等学校との併願を認めていることから、適切な合格者数決定の参考としていますので、正確な記入をお願いします。提出後、順位を変更したい場合は、速やかに本校学生課に連絡してください。

注意 中等教育学校の前期課程を修了又は令和7年3月修了見込みの者は、履修証明書及び成績証明書を提出してください。

#### 4. 「推薦による選抜」に合格内定とならなかった者の学力検査による選抜

「推薦による選抜」の結果、合格内定とならなかった者は、「学力検査による選抜」を受験することができます。再度出願や検定料を納める必要はありません。受験票は「推薦による選抜」のものを引き続き使用します。

在籍学校長は、「学力検査による選抜」のみを受験する者と併せて「学習及び行動の記録一覧表」を作成し、所定の期日までに提出してください。

その他の出願書類は再提出する必要はありません。

## 5. 選抜の方法

「推薦による選抜」は、学校長から提出された推薦書、調査書、ならびに一般面接、適性面接及び作文の結果を総合して行います。

### (1) 「適性面接」

数学や理科に関連する基礎的な事柄について、基本的な理解や論理的な考え方ができるかどうかを問います。

### (2) 「作文」

与えられたテーマについて、自分の意見を 600 字以内にまとめてもらいます。テーマは、アドミッションポリシーに沿ったものです。

## 6. 選抜日程

「推薦による選抜」は、受験者を A グループ、B グループの 2 つに分けて検査を行います。本校が振り分け、在籍学校に通知します。

試験日	グループ	集合時間	時間 ※1	科目等	検査会場
令和 7 年 1 月 18 日 (土)	A	8 : 40	9 : 00 ~ 11 : 50	面接	本校 ※2
			12 : 10 ~ 13 : 10	作文	
	B	11 : 00	11 : 40 ~ 12 : 40	作文	
			13 : 00 ~	面接	

※ 1 不測の事態が発生し、予定時刻に開始することが不相当と判断した場合は、時間を繰り下げることがあります。

※ 2 検査会場には室内履きは必要ありません。

## 7. 「推薦による選抜」結果の通知及び入学確約書の提出

「推薦による選抜」結果の通知日、方法等は以下のとおりです。

### (1) 通知日

令和 7 年 1 月 23 日 (木)

### (2) 方法等

郵送で在籍学校に通知 (通知日発送) し、あわせて合格内定者には合格内定通知書を、在籍学校を通じて交付します。

在籍学校長又はその委任を受けた教職員が希望する場合に限り、本校学生課で通知を受け取ることができます (午前 10 時から午後 2 時まで)。本校での受け取りを希望する学校は、必ず事前に本校学生課までご連絡ください。(受け取りには学校長委任状、身分証明書が必要です)。

なお、電話等による選抜結果の問い合わせには、応じられません。

### (3) 入学確約書の提出

合格内定通知を受けた者は、令和 7 年 1 月 31 日 (金) 【必着】までに、入学確約書 (合格内定通知書と併せて送付します。) を提出してください。期限までに提出がない場合は、入学の意志がないものとして合格内定を取り消します。

## 8. 追試験

### (1) 追試験の対象者

令和7年度入学者選抜「推薦による選抜」に出願した者について、次のいずれかにあてはまる場合は、追試験を受験することができます。

- ① 学校保健安全法施行規則（昭和三十三年文部省令第十八号）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験当日の集合時間（Aグループは8時40分、Bグループは11時）までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明した者
- ② ①を除く、受験者自身の責めに帰することができない理由（月経随伴症状等を含む）で本試験を受験できず、本試験当日の集合時間までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明した者で、校長がその申請を認めた者

なお、追試験の受験を希望する場合は、医療機関又は中学校等の長による証明書等を当日まで、もしくは後日必ず提出してください。追試験の受験にあたっては、再度出願や調査書等の提出、検定料を納める必要はありません。

### (2) 追試験の日程

選抜日・集合時間	時間 ※1	科目等	検査会場
令和7年2月1日（土）	11:40～12:40	作文	本校 ※2
11:00 集合	13:00～	面接	

※1 不測の事態が発生し、予定時刻に開始することが不相当と判断した場合は、時間を繰り下げることがあります。

※2 検査会場には室内履きは必要ありません。

### (3) 結果の通知

「推薦による選抜」の追試験の結果の通知日は、令和7年2月5日（水）です。なお、方法については、本試験と同様に行います。

### (4) 入学確約書の提出

「推薦による選抜」の追試験を受験し、合格内定通知を受けた者は、令和7年2月12日（水）【必着】までに、入学確約書を提出してください。期限までに提出がない場合は、入学の意志がないものとして合格内定を取り消します。

### (5) その他

「推薦による選抜」の追試験受験対象者がいる場合は、「学習及び行動の記録一覧表」を、令和7年1月31日（金）までに提出してください。

## 学力検査による選抜

### 1. 出願資格

入学を志願することができる者は、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 中学校を卒業又は令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 義務教育学校を卒業又は令和7年3月卒業見込みの者



- (3) 中等教育学校の前期課程を修了又は令和7年3月修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- (5) 外国において、学校教育における9年の課程を修了又は令和7年3月修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (8) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

## 2. 出願期間

WEB出願期間	出願書類受付期間	受付時間	郵送の場合の消印有効期日	留意事項
令和6年12月2日(月) ～令和7年1月17日(金)	令和7年1月14日(火) ～令和7年1月17日(金)	土日祝日を除く 9:00～16:30	令和7年 1月16日(木)	郵送の場合は、書留にして「学力入学願書」と朱書してください。

※年末年始休業期間（令和6年12月28日～令和7年1月5日）は問い合わせ等の対応ができません。

## 3. 出願について

出願手続きについては、志願者による「WEB出願サイト」での出願事前手続きの後、在籍中学校等経由等で、出願に必要なすべての書類が本校に受理されたことをもって、出願手続完了となります。

志願者は本校ホームページ（<https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/youkou.html>）から「WEB出願サイト」にアクセスして、ユーザ登録を行う必要があります。ユーザ登録を行うことによって、「WEB出願サイト」上で、入学願書および受験票・写真票の作成・印刷などの出願事前手続を行うことができます。また、検定料の支払いも「WEB出願サイト」上で行うことになります。

14頁の「XII.WEB出願手順について」及び本校ホームページの入試情報ページ（<https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/youkou.html>）に掲載している「WEB出願エントリー説明書」を参考にエントリーしてください。

### (1) 提出先

徳山工業高等専門学校学生課教務係  
〒745-8585 山口県周南市学園台

### (2) 出願手続及び出願書類

出願書類は、下表のとおりです。②写真票、④調査書、⑤学習及び行動の記録一覧表は、在籍学校で取りまとめて提出してください。ただし、前頁の「1.出願資格」の(5)～(8)に該当

する者ならびに(1)～(4)に定める教育機関を卒業又は修了した者は、志願者本人が提出してください。WEB出願の方法については、14頁をご確認ください。

出願書類	留意事項
① 入学願書	<p>「WEB出願サイト」上で必要事項を入力してください。「WEB出願サイト」上での検定料支払をもって、提出したものととして取り扱いますので、<b>紙媒体での提出は不要です。</b></p> <p>出願後の志望学科の変更は認めません。「学力検査による選抜」の第二志望は、欠員補充を行う際に考慮します。</p>
② 写真票	<p>「WEB出願サイト」でダウンロードしたものをカラー印刷し、③の受験票と切り離してください。写真をアップロードしない場合は、写真(出願前3か月以内に撮影したタテ4.5cm ヨコ3.5cm カラー写真とし、無背景・無帽かつ正面上半身のもの)を貼付してください。</p> <p>学力検査において岩国会場又は最寄り地等受験制度の利用を希望する場合は、事前に本校に相談した上で、WEB出願画面で受験地選択時に「岩国会場」又は「最寄り地等」を選択してください。「最寄り地等」を選択した場合は、WEB出願画面の会場一覧を参考の上、会場名を記載してください。</p>
③ 受験票	<p>「WEB出願サイト」上での検定料支払をもって、提出したものととして取り扱いますので、<b>紙媒体での提出は不要です。</b></p> <p>学力検査において岩国会場又は最寄り地等受験制度の利用を希望する場合は、事前に本校に相談した上で、WEB出願画面で受験地選択時に「岩国会場」又は「最寄り地等」を選択してください。</p> <p>なお、受験票は試験当日に持参していただきますので、「WEB出願サイト」からダウンロードしたものを印刷し、大切に保管してください。</p>
④ 調査書 ※1※2	<p>「山口県統合型校務支援システム」から出力、または本校HPよりダウンロードした調査書を使用し、在籍学校長が必要事項を記入してください。中学校卒業後一定の期間を経過し、出身中学校長が調査書を発行できない場合は、令和6年11月29日(金)までに、本校にご連絡ください。</p>
⑤ 学習及び行動の記録一覧表※2	<p>令和7年度公立高等学校入学者選抜実施要領に準じて在籍学校長が作成したものを1学校1部提出してください。第3学年の第2学期までの記録に基づき作成してください。なお、既卒者については、提出の必要はありません。</p>
⑥ 検定料	<p>16,500円を「WEB出願サイト」で支払処理をしてください。災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への特別措置については、13頁をご覧ください。</p>

※1 ④調査書を作成する際は、以下の点をご確認ください。

- ・記入事項については、令和7年度山口県公立高等学校入学者選抜実施要領に準じて作成してください。
- ・卒業見込みの者にあつては、第3学年の第2学期までの記録に基づき作成してください。

- ・第二志願のない者は、「第二志願」の欄に「―」を引いてください。推薦による選抜を志願する者で「第二志願」の欄に記入した者は、推薦による選抜の結果が合格内定とならず、学力検査による選抜を受験した場合に考慮します。
- ・「本校の志望順位」について回答の内容は、志願者個人の合否判定には使用しません。本校は、高等学校との併願を認めていることから、適切な合格者数決定の参考としていますので、正確な記入をお願いします。提出後、順位を変更したい場合は、速やかに本校学生課に連絡してください。

※2 ④調査書及び⑤学習及び行動の記録一覧表は、令和7年1月31日（金）までに提出してください。

注意 中等教育学校の前期課程を修了又は令和7年3月修了見込みの者は、履修証明書及び成績証明書を提出してください。

注意 「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、「学力検査による選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している検査会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。受験生は本校が設置する検査会場以外に、機構ホームページの『入学者選抜学力検査会場一覧』から、受験したい検査会場を希望することができます。

ただし、検査会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、本校以外の検査会場で受験を希望する受験生は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします。

#### 【事前相談問い合わせ先】

窓 口：徳山工業高等専門学校学生課教務係

電 話：0834-29-6233

相談期間：令和6年11月1日（金）～令和7年1月16日（木）

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先（機構ホームページ）

各会場の受け入れ状況を随時更新します。

<https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/moyori.html>



本校の「主たる検査会場」：徳山高専

※事前相談期間締切後については、やむを得ない場合を除き原則受け付けません。

## 4. 選抜の方法

学力検査の成績及び学校長から提出された調査書を総合して行います。学力検査は、国語、社会、数学、理科及び英語の5教科で、各教科100点、計500点満点で採点したものを、数学を2倍、理科を1.5倍に換算し、合計650点満点とします。調査書は、各学年における9教科の学業成績について、各学年45点満点で採点したものを、1学年および2学年を2倍、3学年を4倍に換算し、

合計 360 点満点とします。学力検査の成績と調査書の成績の合計点数（1010 点満点）の高いものを上位とし、合格者とします。

学力検査の解答はマークシート方式です。HB 黒鉛筆でのみ記入してください。

## 5. 選抜日程

選抜日・集合時間	時間※1	科目等	検査会場
令和7年2月9日（日） 8：40～9：00 入室	9：30～10：20	理科	○本校※2 ○岩国※2※3 岩国Y M C A 保健看護専門学校 （岩国市麻里布町2-6-25） ○最寄り地等
	10：40～11：30	英語	
	11：50～12：40	数学	
	13：30～14：20	国語	
	14：40～15：30	社会	

※1 不測の事態が発生し、予定時刻に開始することが不相当と判断した場合は、時間を繰り下げることがあります。

※2 本校及び岩国会場では室内履きは必要ありません。

※3 岩国会場に駐車場はありません。

## 6. 追試験

### (1) 追試験の対象者

令和7年度入学者選抜「学力検査による選抜」に出願した者について、次のいずれかにあてはまる場合は、追試験を受験することができます。

- ① 学校保健安全法施行規則（昭和三十三年文部省令第十八号）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者で、本試験当日の集合時間（9時）までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明した者
- ② ①を除く、受験者自身の責めに帰することができない理由（月経随伴症状等を含む）で本試験を受験できず、本試験当日の集合時間までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明した者で、校長がその申請を認めた者

なお、追試験の受験を希望する場合は、医療機関又は中学校等の長による証明書等を当日まで、もしくは後日必ず提出してください。追試験の受験にあたっては、再度出願や調査書等の提出、検定料を納める必要はありません。

### (2) 追試験の日程

選抜日・集合時間	時間 ※1	科目等	検査会場
令和7年2月23日（日） 8：40～9：00 入室	9：30～10：20	理科	本校※2
	10：40～11：30	英語	
	11：50～12：40	数学	
	13：30～14：20	国語	
	14：40～15：30	社会	

- ※1 不測の事態が発生し、予定時刻に開始することが不相当と判断した場合は、時間を繰り下げることがあります。
- ※2 検査会場には室内履きは必要ありません。

(3) 合格者の発表

合格者の発表日時及び方法については、本試験と同様に行います。

#### IV. 出願上の注意事項

1. 出願書類に事実と反する記載があった場合は、合格させないことがあります。また、合格発表後に判明した場合は、合格を取り消すこと、入学後に判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
2. 受理した書類及び納付した検定料は返還しません。ただし、検定料については、次の場合は申し出により返還しますので、提出先に速やかにご連絡ください。
  - (1) WEB出願エントリーにて検定料を納付したが出願書類を提出しなかった、又は出願書類が受理されなかった場合
  - (2) 検定料を重複して納付した場合
  - (3) 災害救助法適用地域における災害で被害を受けた場合  
詳細は13頁をご覧ください
3. 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用しますのであらかじめご了承ください。
  - (1) 入学後の教育・指導
  - (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
  - (3) 奨学金申請の審査
  - (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
  - (5) 同窓会、後援会等の案内

#### V. 合格者の発表

合格者の発表日時、方法等は以下のとおりです。

1. 日時  
令和7年3月4日(火) 午前10時
2. 方法等  
「推薦による選抜」及び「学力検査による選抜」合格者の受験番号を本校校内に掲示するとともに、本校ホームページに掲載します。

また、郵送（発表日発送）で在籍学校を通じて、合格者に通知します。ただし、「学力検査による選抜」における出願資格の(4)及び(6)～(8)に該当する者と(1)～(3)及び(5)に定める教育機関を卒業又は修了した者には、直接本人に通知します。

在籍学校長又はその委任を受けた教職員が希望する場合に限り、本校学生課で通知を受け取ることができます（午前 10 時から午後 2 時まで）。本校での受け取りを希望する学校は、必ず事前に本校学生課までご連絡ください。（受け取りには学校長委任状、身分証明書が必要です）。

なお、電話等による問い合わせには、応じられません。

本校ホームページへの掲載は、合格者の発表日から 1 週間とします。

<https://www2.tokuyama.ac.jp/gouhi/>

## VI. 入学確定者名簿の提出

合格者の出身中学校長は、合格者の入学意志を確認の上、入学確定者名簿を令和 7 年 3 月 14 日（金）までに提出してください。

## VII. 新入生修学指導説明会

入学者を対象に修学指導を行うための説明会を令和 7 年 3 月 19 日（水）13 時 30 分から本校で開催します（受付 12 時 30 分～）。この場で、入学手続きも行うため、入学者は必ず出席してください。説明会の案内及び入学手続きは、合格通知に同封します。

## VIII. 学力検査成績の開示について

開示を希望する者は、学力検査成績開示申請書に必要事項を記入のうえ、受験票を添えて学生課窓口又は郵送で申請してください。開示は、受験者本人からの申請に限ります。

申請書式のダウンロードおよび詳細は <https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/kaiji.html> を参照してください。

## IX. 事務電算上で使用可能な漢字について

入学者選抜事務では、電算処理する関係上、使用可能な漢字は原則として JIS 第 1・2 水準（計 6,355 字）のみです。JIS に定められていない漢字を氏名に持つ受験者については、WEB 出願時にチェック項目にチェックを付けてください。また、印刷時に本当の漢字と異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

## X. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に基づき、障害等による支援ニーズのある者に対して、受験上又は修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、出願期限の1か月前にあたる令和6年12月10日（火）（推薦による選抜）又は令和6年12月18日（水）（学力検査による選抜）を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要否に関しても本校学生課までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、本校で確認します。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」をお勧めします。選抜後、または入学後に合理的配慮に関して初めて相談する場合は、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談は、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課教務係 (TEL) 0834-29-6233

(FAX) 0834-29-6161

(Mail) [kyoumu@tokuyama.ac.jp](mailto:kyoumu@tokuyama.ac.jp)

## XI. 災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への特別措置について

入学志願者のその主たる家計支持者が令和6年度に災害救助法適用地域に居住していて被災した場合には、検定料免除申請書に必要書類を添えて提出することで検定料が免除されます。

詳細については、学生課教務係へお問い合わせください。

## XII. WEB出願手順について

### 1. WEB出願エントリー

#### (1) WEB 出願サイトへのアクセス

本校ホームページに URL を掲載します。パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれかをご利用ください。WEB出願を行う環境がない場合は在籍中学校等又は本校へご相談ください。

#### (2) ユーザ登録

メールアドレスを ID として登録してください。登録を完了すると登録完了メールが送信されます。事前に「@e-shiharai.net」からのメールを受信できるように迷惑メールの設定を確認しておいてください。メールが届かない場合は、サポートセンターにお問い合わせください。(出願サイトの「お問合せ先」に記載)

#### (3) 出願情報登録

WEB出願エントリー期間は推薦による選抜・学力検査による選抜とも、令和6年12月2日(月)から開始です。余裕を持って手続きをしてください。

#### (4) 申込内容の確認

入力した内容を確認した後は「保存して中断する」を選択して入力内容を保存します。この時点では「お支払い画面へ」は選択しないでください。マイページの「申込確認」から「申込内容確認書」を出力し、保護者と中学校等に確認してもらってください。

#### (5) 検定料支払処理

出願内容の確認が終了後、マイページの「続きから」から「お支払い画面へ」を選択してください。検定料の納付はクレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関 ATM (ペイジー) をご利用ください。なお、納付には別途手数料がかかります(申込者負担)。

#### (6) 受験票の作成、印刷

受験票は提出の必要はありません。試験当日に持参してください。

#### (7) 写真票の作成、印刷

写真票は写真データをアップロードしてカラー印刷するか、印刷した写真票に写真を貼付して提出してください。

### 2. 出願書類提出

在籍中学校等を経由して、必要な書類を持参又は郵送にて提出してください。(2頁、7頁)



# WEB出願の流れ

出願にあたり、以下の内容をご確認いただくとともに、本校ホームページの「WEB出願エントリー説明書」をご参照ください

- ・募集要項の内容に関するお問合せ先：本校学生課教務係
- ・WEB出願システムに関するお問合せ先：サポートセンター

出願サイト右下にある「お問合せ先」から電話番号を確認してください。

本校ホームページ

募集期間が近くなりましたら、本校ホームページに出願サイトのURLを掲載します。

出願サイト

パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれかをご利用ください。WEB出願を行う環境がない場合は在籍中学校等又は本校へご相談ください。

ユーザ登録

メールアドレスをIDとして登録してください。緊急連絡時にもすぐご確認いただけるメールアドレスをご登録ください。パスワードは忘れないようにメモをとっておいてください。登録を完了すると登録完了メールが送信されます。事前に「@e-shiharai.net」からのメールを受信できるように、迷惑メール等の設定を確認しておいてください。

顔写真データ  
アップロード(任意)

撮影した受験者の顔写真データをアップロードしてください。アップロードしない場合は、写真票印刷後、写真貼付欄に受験者の写真(タテ4.5cm×ヨコ3.5cm)を貼付してください。(無背景・無帽・カラー 3か月以内に撮影したものに限り)

出願情報登録

選抜区分等を選択し、志願者情報を入力してください。

申込内容の確認

入力した内容を確認した後、「保存して中断する」を選択して入力内容を保存します。この時点では、「お支払い画面へ」は選択しないでください。マイページの「申込確認」から「申込内容確認書」を印刷し、保護者と中学校等に確認してもらってください。

検定料支払処理

出願内容の確認終了後、マイページの「続きから」から「お支払い画面へ」を選択してください。検定料のお支払いは、クレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関ATM(ペイジー)をご利用ください。本校窓口でのお支払いはできません。なお、お支払いには別途手数料がかかります。検定料のお支払い後、申込受付完了メールが届きます。また、検定料のお支払い後、出願内容の変更はできません。

受験票・写真票の作成、印刷

受験票は提出の必要はありません。ご自宅やコンビニエンスストア等で印刷して、試験当日に持参してください。写真票は写真データをアップロードしてカラー印刷するか、印刷した写真票に写真を貼付して提出してください。

出願書類郵送

出願書類は、在籍中学校にてとりまとめ、出願書類受付期間中に到着するよう郵送又は持参してください。

入試当日

受験票をお持ちの上、会場へ集合してください。

### XIII. 徳山工業高等専門学校入学案内

#### 1. 本校の概要

本校は、「技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育み、広く社会の安全と人々の幸福に寄与する」という建学の理念のもと、5年間の一貫したきめ細やかな講義、演習、実験・実習や課題発見・解決型授業などを通して、専門分野の基礎から応用までの知識や技術などに裏付けされた実践力、創造力やコミュニケーション力などを身につけるための教育を行っています。

卒業生には「準学士」の称号が与えられます。

また、平成15年度から本校における「設計情報工学」プログラムが、国際的に通用する技術者教育プログラムとして、日本技術者教育認定機構（JABEE）より認定されました。

JABEE 認定に関する詳細は、本校ホームページをご覧ください。

<https://www.tokuyama.ac.jp/school/whats/jabee.html>

#### 2. 育成しようとする技術者像

本校では「情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者」を育成することをめざしています。

#### 3. 学習・教育目標並びに本科における具体的到達目標

「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」

##### (A) 「世界に通用する」技術者をめざすために

(A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること

○ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する

(A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと

○ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する

○ 自らの目標を定め、外部試験を活用して英語力のステップアップを図る

##### (B) 「実践力のある」技術者をめざすために

(B1) 情報技術をベースに実体験を通して表現力を身につけること

○ 情報関連・実験の科目を修得する

(B2) 自主性と自立性を養うこと

○ 卒業研究の科目を修得する

##### (C) 「開発型」技術者をめざすために

(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること

○ メカトロニクス技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する

(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと

○ 創造系の科目を修得する

○ 創造演習発表会、卒業研究発表会などで発表を行う

#### 4. 学科案内

本校は、次の3学科から構成され、いずれも複合学科です。

各学科の概要は次のとおりです。

##### 機械電気工学科

得意とする複合技術：メカトロニクス技術

「データ・情報・通信技術を活用し、持続可能な社会を実現する機械システムを設計・製作する技術」

現代のあらゆる産業分野で活躍しているさまざまな機械は、そのほとんどがコンピュータで制御されるようになっていきます。

本学科では、このようないわゆるメカトロニクス技術に対応できる技術者の養成をめざしており、そのため、機械の分野ばかりでなく電気・制御・情報に関する知識を修得できるようにカリキュラムが編成されています。

また、実践的で応用力のある技術者を育成するため、低学年から3次元 CAD による製図、コンピュータによる演習、自律型ロボットの製作などの実習、さらに各種資格試験にも関連する実践的授業が行われています。

##### 情報電子工学科

得意とする複合技術：情報電子技術

「コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術」

近年、コンピュータ技術の応用分野は飛躍的に拡大、多様化してきており、高度情報化社会を担う情報処理技術者が求められています。

本学科では、電子工学分野と情報工学分野をバランスよく学習することにより、コンピュータのハードウェア技術及びソフトウェア技術を身につけ、これらの技術を活かして情報処理システム、通信情報システム、コンピュータ応用機器システムなどの設計・構築、更にはインターネットなどネットワークシステムの設計・構築に従事できる高度なコンピュータシステム技術者をめざします。

##### 土木建築工学科

得意とする複合技術：社会環境整備技術

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工する技術」

人類の生活を根底から支える土木工学と建築学を学ぶことは、持続可能な社会形成のためにも今後ますます重要となります。

本学科では、本科3年生まで土木工学と建築学を複合的に学び、4・5年生では「土木コース」と「建築コース」のいずれかを選択し、各コースの必修科目をベースに応用的な選択科目を履修していきます。土木・建築どちらのコースにおいても本学科卒業時に「測量士補」の資格が得られ、実務経験3年で

「測量士」の資格が得られます。また、建築コースでは建築士受験のための指定科目を修得することで、本学科卒業後、「二級建築士」及び「一級建築士」の受験資格が得られます（ただし、一級建築士の登録には試験合格後4年の実務経験が必要です）。

## 一般科目

一般科目は、広い視野をもったすぐれた技術者を育てるため、豊かな教養を身につけること及び専門の知識や技術を習得するための学問的基礎を養うことを目的としています。1～5年の全授業時間数の約半数がこれに充てられています。低学年の授業は、一般科目が主となりますが、学年が進むにつれて一般科目は減少し専門科目が増加します。

## 5. 教育課程

授業科目は、各学科に共通の一般科目と学科ごとに異なる専門科目に分かれて開設されており、所要の科目を5年間で学びます。

詳しくは24～27頁教育課程を参考にしてください。

## 6. 入学時に要する諸経費

区分		金額
入学料		84,600 円
授業料（注）	前期分	117,300 円
日本スポーツ振興センター掛金	年額	1,550 円
学生会入会金		1,000 円
学生会費	年額	4,000 円
教科書代	(学科により異なる)	約 85,000～110,000 円
体育衣等		
実習服等		
製図用具等		
その他		

(注) 入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。また、高等学校等就学支援金制度の適用があります。次ページを参照してください。

### (1) 入学料及び授業料の納入について

入学料は、令和7年3月18日（火）までに納めてください。なお、納入済みの入学料は返還しません。授業料の納入方法については、合格通知に併せて後日通知します。

### (2) 携帯情報機器の持込みについて

本校では令和2年度より学生個人の携帯情報機器（PC（パソコン）、タブレット端末、スマートフォン等）を授業等で使用しています。授業科目の担当教員の指示・許可のもと、授業ノートやレポートの作成や、学業に必要な情報検索などにPC等を積極的に活用することを推奨しています。そのためのWi-Fi環境も校内に整備されています。

なお、入学後、学科別に、指定された学年の段階で、所定の仕様を満たした PC 等を準備してください。入学確定後、学科別に、授業に必要な PC 等の詳細をお知らせします。また、感染症や災害の発生等の非常時における特例的な措置として遠隔授業を実施しますので、ご家庭においてインターネット環境を整備してください。

## 7. 入学料・授業料減免制度、高等学校等就学支援金制度及び奨学金制度

### (1) 入学料・授業料減免制度

新入生のうち一定の基準を満たす学生は、入学料が免除もしくは徴収猶予されることがあります。

1年生から3年生までの学生で、規則で定められている特別な事情により、授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、授業料が免除されることがあります。また、4年生以上の学生は高等教育の修学支援新制度により、一定の家計基準を満たし、学修意欲があると認められる者については、授業料等が免除もしくは減額されることがあります。

### (2) 高等学校等就学支援金制度

本制度は、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、学生の授業料に充てる高等学校等就学支援金を支給し、家庭の教育費負担を軽減するものです。

国立高等専門学校（1～3年生）も本制度の対象になっており、授業料の支援として保護者等の所得が判定基準未満の世帯に「就学支援金」が支給されます。

### (3) 奨学金制度

学業、人物ともにすぐれ、経済的理由により修学が困難と認められる者に対して、選考のうえ日本学生支援機構や、その他の団体などから奨学金が貸与又は給付されます。

- ① 日本学生支援機構の奨学生として採用を希望する者は、入学後に出願することになります。詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。
- ② その他の奨学金制度として、「山口県ひとづくり財団」や各自治体などのものがあります。

## 8. 学寮

### (1) 施設

冷暖房および全室 Wi-Fi 完備の学寮「高城寮」（男子定員 120 名、女子定員 31 名（外国人留学生を含む））があり、「自立の志が高い人」を受け入れています。充実した生活環境の中で勉学や課外活動にも集中でき、時間を有効に活用した学生生活を過ごすことができます。

### (2) 入寮

入寮は書類（場合によっては面接）選考により、「入寮の目的、向学意欲、適性」を確認した上で受け入れを許可しています。

### (3) 経費（令和6年度の場合）

寄宿料	月額	800円（1人部屋）、700円（2人部屋）
食費（1日3食）	月額	約40,000円
寮費（光熱水費等）	月額	8,000円
空調機維持管理費	半期	3,000円
入寮費	入寮時	1,000円
寮生会費	年額	1,500円

## 9. 学生生活

本校では「自分で考え、行動し、しかも自分の行為に責任をもつ」という自主性の育成に教育の重点をおいています。

### (1) 制服について

1～3年生は定められた制服を着用しなければなりません。4年生以上は制服以外の服装で通学してよいが、この場合の服装は本校の学生としての品位をそこなわないものでなければなりません。

### (2) 通学について

自転車通学については、許可制になっています。3年生以下の学生は、自動車、自動二輪車及び原動機付自転車（原付バイク）を運転して通学することを原則として禁止しています。

ただし、4年生以上の学生については、一定の条件を満たした場合にバイク等の通学を許可しています。

## 10. 構内施設・課外活動

### (1) 構内施設

学生が利用できる施設として、野球場、陸上競技場、体育館、武道場、テニスコート、プールなどの体育関係施設及び図書館、福利厚生センター、合宿研修施設、学生食堂などがあります。

### (2) 学生会活動

本校には学生全員をもって構成する学生会があり、学生生活における集団活動への積極的参加、自発的な活動による自主性、人間形成の助長を目的として活動しています。

### (3) クラブ活動

陸上競技部、バスケットボール部、バレーボール部、ソフトテニス部、卓球部、剣道部、水泳部、硬式野球部、サッカー部、バドミントン部、ハンドボール部、テニス部、アーチェリー部、ダンス同好会、女子ハンドボール同好会

総合文化部、音楽部、吹奏楽部、メカトロシステム部、ニューメディア部、茶道部、デザイン研究部、アマチュア無線部

いずれも中国高専体育連盟及び全国高専連合会並びに山口県の各体育連盟、又は中国地区高専文化連盟に加入しています。

## 11. 本科卒業後の進路

年度 学科	令和 3 (2021)		令和 4 (2022)		令和 5 (2023)	
	就職	進学	就職	進学	就職	進学
機械電気工学科	17	15 (7)	21	15 (5)	31	13 (4)
情報電子工学科	29	12 (5)	29	11 (5)	29	18 (7)
土木建築工学科	26	17 (8)	26	13 (8)	32	11 (5)

( ) は本校専攻科への進学者数で内数

### (1) 就職状況

過去3年の就職先は次のとおりです。

#### [機械電気工学科]

ENEOS、HIVEC、JASM、NTT 東日本グループ会社、SURDEC、UBE、アイリスオーヤマ、宇部興産機械、荏原製作所、奥村機械製作、カワト T.P.C、京セラ、鋼板工業、山九、シーアールイー、神鋼テクノ、新明和工業、新和工業、水ing、西部石油、中国電力、中国電力ネットワーク、チームラボ、テルモ、東海旅客鉄道、東ソー、東ソー・ハイテック、東洋製罐、東洋鋼板、トクヤマ、ニコン、ニシエフ、西日本旅客鉄道、日鉄ステンレス、日東電工、日本ゼオン、日立交通テクノロジー、日立製作所、日立産業制御ソリューションズ、日立ハイテク、ファナック、深江化成、富士電機、不二輸送機工業、前田道路、三井化学、三菱重工業、三菱電機、三菱電機エンジニアリング、メタウォーター、レゾナックワンステップワークショップ

#### [情報電子工学科]

AGEST、FIXER、JRCS、KDDI エンジニアリング、NEC ネットズエスアイ・サービス、NS ウェスト、NTT データ MSE、NTT データ SBC、NTT データフロンティア、Phone Appli、アイ・エス・ビー、アイテックス、アイテック阪急阪神、旭化成、アトラス情報サービス、エスユーエス、オムロンフィールドエンジニアリング、岐山化工機、九州 NS ソリューションズ、国際ソフトウェア、コベルコソフトサービス、西京システムサービス、サントリー、新川電機、神鋼テクノ、ソフトバンク、ソフトリンク、ダイキン工業、ダイハツ九州、中国電力、中国電力ネットワーク、デルタ工業、テルモ山口、東京ガス、東ソー情報システム、トクヤマ、徳山興産、トクヤマ情報サービス、トヨタシステムズ、ニコン、西日本電信電話、西日本旅客鉄道、日鉄テックスエンジ、ハイマックス、パナソニック コネクト、パナソニック システムソリューションズ ジャパン、日立アドバンスシステムズ、日立ハイテク、日立ビルシステム、ファインディックス、富士通、富士通 Japan、富士通ゼネラル、フジテクノ、富士電機、フラー、三菱電機エンジニアリング、メタウォーター、ロイヤル

#### [土木建築工学科]

ENEOS、I.D.Works、INPEX、NEC ファシリティーズ、NHK テクノロジーズ、NTT ファシリティーズ、アイリスオーヤマ、宇部建設コンサルタント、ヴェオリア・ジャパングループ、エースホーム、エム・エムブリッジ、奥村組、大阪防水建設社、鹿島建設、カラダノート、極東興和、車田建築設計事務所、広成建設、五洋建設、澤田建設、ショーボンド建設、シーエム・エンジニアリン

グ、大成建設、竹中工務店、巽設計コンサルタント、中国電力、東栄住宅、東海旅客鉄道、東京ガス、東京ガスネットワーク、東ソー、トクヤマ、西日本高速道路、西日本旅客鉄道、日本空港テクノ、ネストハウス、パシフィックコンサルタンツ、復建調査設計、不動テトラ、前田道路、三井住友建設、メタウォーター、森トラスト、洋林建設、若築建設、和田材木店、国土交通省中国地方整備局、山口県、神戸市、周南市、泉南市、光市、防府市、山口大学

## (2) 進学状況

卒業後さらに勉学を続けたい人は、大学（3年次編入学）又は高専の専攻科（修業年限2年）に進学することができます。

### ① 大学編入学

高専の卒業生を数多く受け入れる長岡、豊橋両技術科学大学をはじめ、多数の国公私立大学が編入学制度を実施しています。

過去3年の編入学先は次のとおりです。

#### [機械電気工学科]

大阪大学、岡山大学、金沢大学、九州大学、熊本大学、佐賀大学、電気通信大学、東京都市大学、東京農工大学、東北大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、広島大学、北海道大学、山口大学

#### [情報電子工学科]

岡山大学、九州工業大学、九州大学、神戸大学、千葉大学、筑波大学、東京大学、東京都市大学、豊橋技術科学大学、日本大学、広島大学、北海道大学、山口大学

#### [土木建築工学科]

九州大学、京都工芸繊維大学、熊本大学、島根大学、東京工業大学、東京大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、広島大学、山口大学、横浜国立大学、立命館大学

### ② 専攻科進学

専攻科は現在、ほとんどの高専に設置されており、本校にも機械制御工学専攻、情報電子工学専攻、環境建設工学専攻からなる専攻科が設置されています。専攻科を修了し、一定の要件を満たした者には、国の機関である大学改革支援・学位授与機構から「学士」の学位が授与されます。

## 12. 専攻科修了後の進路

### (1) 就職状況

本校専攻科の過去3年の就職先は次のとおりです。

#### [機械制御工学専攻]

SGシステム、UBE、アイリスオーヤマ、アークエルテクノロジーズ、山九、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ、ディスコ、ニコン、日本飛行機、ミズノ

#### [情報電子工学専攻]

Cygames、オリンパス、九州NSソリューションズ、システナ、セイコーエプソン、東ソー情報システム、パナソニックコネクト、富士通、三菱電機エンジニアリング、ヤマハ



[環境建設工学専攻]

あい設計、あおみ建設、エルクホームズ、大林組、川田工業、極東興和、住友不動産、積水ハウス、大成建設、異設計コンサルタント、西日本高速道路エンジニアリング中国、日本工営、日本住宅、山口県、下松市

(2) 進学状況

本校専攻科を終了した者は大学院へ進学する者もいます。過去3年の進学先は次のとおりです。

[機械制御工学専攻]

大阪大学大学院、岡山大学大学院、九州工業大学大学院、九州大学大学院、東北大学大学院、豊橋技術科学大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、広島大学大学院、東京都立大学大学院、横浜国立大学大学院、早稲田大学大学院

[情報電子工学専攻]

九州大学大学院、名古屋大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、東京都立大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、早稲田大学大学院

[環境建設工学専攻]

九州大学大学院、東京工業大学大学院、東京都立大学大学院、豊橋技術科学大学大学院、山口大学大学院、横浜国立大学大学院

別表第1 (第13条関係)

一般科目

※Ⅰ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業30時間、自修15時間で構成されるもの(学修単位Ⅰ)を示す。

※Ⅱ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業15時間、自修30時間で構成されるもの(学修単位Ⅱ)を示す。

	授業科目	単位数	学年別単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語ⅠA	2	2					
	国語ⅠB	2	2					
	国語Ⅱ	2		2				
	国語Ⅲ	2			2			外国人留学生除く
	歴史	4	2	2				
	倫理	2		2				
	政治・経済	2	2					
	哲学	2			2			外国人留学生除く
	数学ⅠA	3	3					
	数学ⅠB	3	3					
	数学ⅡA	3		3				
	数学ⅡB	3		3				
	数学ⅢA	2			2			
	数学ⅢB	2			2			
	※Ⅰ 微分積分学Ⅰ	1				1		
	※Ⅰ 微分積分学Ⅱ	1				1		
	※Ⅰ ベクトル解析	1				1		ME, 1E
	※Ⅰ 線形代数	1					1	CA
	ライフサイエンス・アースサイエンス	2	2					
	物理基礎	1	1					
	物理Ⅰ	2		2				
	物理Ⅱ	2			2			
	※Ⅰ 応用物理	2				2		
	化学基礎	2	2					
	化学Ⅰ	1		1				
	化学Ⅱ	1		1				
	体育	8	2	2	2	2		
	保健	1	1					
	芸術	2		2				
	基礎英語R	2	2					
	基礎英語W	1	1					
	総合英語ⅠR	2		2				
総合英語ⅠW	2		2					
総合英語ⅡR	2			2			外国人留学生除く	
総合英語ⅡW	1			1				
総合英語演習Ⅰ	2				2		外国人留学生除く	
総合英語演習Ⅱ	1					1		
英会話	3		1	1	1			
日本語	6			4	2		外国人留学生科目	
日本事情	2			2			外国人留学生科目	
課題発見解決プロジェクトⅠ	1	1						
修得単位数計	78	26	25	16	10	1	ME, 1E	
					9	2	CA	
選択科目	人文・社会	日本語学・日本文学	1				1	
		中国文学	1				1	
		歴史学	1				1	
		心理学	1				1	
		人文社会特講	2				1	1
	外国語	ドイツ語	3				2	1
		英語特別演習	1				1	
		中国語	3				2	1
	自然科学	※Ⅰ 生物学	1				1	
		※Ⅰ 物理化学	1				1	
		※Ⅰ 自然科学特講	1				1	
		※Ⅰ 科学史	1				1	
		※Ⅰ 応用解析学概論	3				3	
		※Ⅰ 応用数学演習	1					1
		語学研修	2		2 (在学中1回のみ)			外国人留学生除く
	開設単位数計	23	2	2	2	16	9	
	外国人留学生開設単位数計	21			0	14	7	
	特別活動	3	1	1	1			

注① 4学年では人文・社会領域から2科目または外国語領域から1科目選択し、自然科学領域から1科目選択する。

ただし、応用解析学概論は、通年3単位、他科目は半期1単位で開講する。

② 5学年では人文・社会領域から1～2科目または、人文・社会領域、外国語領域からそれぞれ1科目選択する。ただし、ドイツ語及び中国語は4学年で履修した科目を継続する場合に限り選択することができる。

ME：機械電気工学科 I E：情報電子工学科 CA：土木建築工学科

別表第2 (第13条関係)

専門科目 機械電気工学科

※Ⅰ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業30時間、自修15時間で構成されるもの(学修単位Ⅰ)を示す。

※Ⅱ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業15時間、自修30時間で構成されるもの(学修単位Ⅱ)を示す。

	授業科目	単位数	学年別単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	工 作 実 習 Ⅰ	2	2					
	工 作 実 習 Ⅱ	2		2				
	機 械 の 基 礎	1	1					
	電 気 の 基 礎	1		1				
	技 術 発 達 史 論	1	1					
	コ ン ピ ュ ー タ 基 礎	1	1					
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎	1	1					
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用	2		2				
	工 業 英 語 Ⅰ	1				1		
	エ モ ー シ ョ ン 制 御	1				1		
	電 気 回 路 Ⅰ	1				1		
	電 子 回 路 Ⅰ	2				2		
	※Ⅰ 電 磁 気 学	2					2	
	材 料 力 学 Ⅰ	2				2		
	水 力 学	1				1		
	※Ⅰ 熱 力 学 Ⅰ	1					1	
	人 工 知 能	1					1	
	知 的 財 産 権	1				1		
	※Ⅰ 技 術 者 倫 理	1						1
	※Ⅰ 制 御 工 学 Ⅰ	1					1	
	※Ⅱ 制 御 工 学 Ⅱ	2						2
	※Ⅰ 計 測 工 学	2						2
	加 工 学	1				1		
	※Ⅰ 機 構 学	1					1	
	工 業 力 学	1				1		
	※Ⅰ 機 械 力 学 Ⅰ	1					1	
	材 料 学 Ⅰ	2				2		
	※Ⅰ 機 械 設 計 論 Ⅰ	1					1	
	※Ⅰ 機 械 設 計 論 Ⅱ	1						1
	基 礎 設 計 製 図 Ⅰ	2	2					
基 礎 設 計 製 図 Ⅱ	2		2					
設 計 製 図 Ⅰ	1				1			
※Ⅰ 設 計 製 図 Ⅱ	1					1		
※Ⅰ 設 計 製 図 Ⅲ	1						1	
創 造 演 習 Ⅰ	1	1						
創 造 演 習 Ⅱ	1				1			
創 造 製 作 Ⅰ	2		2					
コ ン ピ ュ ー タ 制 御	2				2			
工 学 実 験 Ⅰ	1				1			
※Ⅰ 工 学 実 験 Ⅱ	3					3		
課 題 発 見 解 法 プ ロ ジ ェ ク ト Ⅱ	1		1					
工 学 セ ミ ナ ー	1					1		
卒 業 セ ミ ナ ー	10						10	
修 得 単 位 計	67	9	10	18	13	17		

	授業科目	単位数	学年別単位数					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
選択科目	総 合 実 地 演 習 Ⅰ	1	1		1			注①	
	総 合 実 地 演 習 Ⅱ	2		2					
	校 外 実 習 Ⅰ	1				1		注②	
	校 外 実 習 Ⅱ	2				2			
	※Ⅰ 材 料 学 Ⅱ	1				1			
	※Ⅰ 材 料 力 学 Ⅱ	1				1			
	※Ⅰ 弾 性 力 学	1				1			
	※Ⅰ 流 体 力 学	1				1			
	※Ⅰ 電 気 回 路 Ⅱ	2				2			
	※Ⅰ 電 子 回 路 Ⅱ	1				1			
	※Ⅰ 創 造 製 作 Ⅱ	2				2			
	※Ⅰ 関 数 論	1				1			
	※Ⅰ 確 率 ・ 統 計	1				1			
	※Ⅰ 工 業 英 語 Ⅱ	1					1		
	※Ⅰ フ ー リ エ 変 換	1					1		
	※Ⅰ 熱 力 学 Ⅱ	1					1		
	※Ⅰ 機 械 力 学 Ⅱ	1					1		
	※Ⅰ 環 境 リ サ イ ク ル 論	1					1		
	※Ⅰ 一 般 物 理	1					1		
	※Ⅰ 数 値 計 算	1					1		
	※Ⅰ 流 体 機 械	1					1		
	※Ⅰ 伝 熱 工 学	1					1		
	※Ⅰ 有 限 要 素 法	1					1		
	※Ⅰ ベ ン チ ャ ー ビ ジ ネ ス 論	1					1		
	※Ⅰ 通 信 工 学	1					1		
	※Ⅰ デ ー タ 解 析	1					1		
	※Ⅰ 特 別 講 義	1					1		
	海 外 研 修	2		2(在学中1回のみ)					外国人留学生除く
	基 礎 電 気 電 子 工 学	2			2				外国人留学生科目
	基 礎 機 械 工 学	2			2				外国人留学生科目
開 設 単 位 計	33	2	5	2	16	16			
外 国 人 留 学 生 開 設 単 位 計	35	2	5	4	14	14			

一般科目 必修科目 修得単位数	78	26	25	16	10	1	
専門科目 必修科目 修得単位数	67	9	10	18	13	17	
一般科目 選択科目 標準修得単位数	4				3	1	(卒業時選択科目22単位以上。内専門選択科目15単位以上)
専門科目 選択科目 標準修得単位数	18					18	
標準修得単位数 合計	167	35	35	34	63		
標準修得単位数 累計		35	70	104	141	167	学則第28条を充足すること
特別活動	3	1	1	1			各学年ごとに履修すること

注① 総合実地演習Ⅰ及び総合実地演習Ⅱは、重複して履修することができない。

② 校外実習Ⅰ及び校外実習Ⅱは、重複して履修することができない。

別表第2 (第13条関係)

専門科目 情報電子工学科

※Ⅰ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業30時間、自修15時間で構成されるもの(学修単位Ⅰ)を示す。

※Ⅱ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業15時間、自修30時間で構成されるもの(学修単位Ⅱ)を示す。

	授業科目	単位数	学年別単位数					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	基礎電気電子回路	2	2						
	基礎コンピュータ工学	2	2						
	コンピュータの基礎知識	1	1						
	基礎プログラミングⅠ	1	1						
	基礎プログラミングⅡ	1	1						
	基礎プログラミング演習	1	1						
	電子工学実験	4			4				
	※Ⅰ コンピュータシステム実験	4				4			
	※Ⅱ 創造演習	2				2			
	※Ⅰ 創造製作	1				1			
	※Ⅰ 電子情報通信システム実験	2					2		
	卒業研究	10					10		
	情報工学演習Ⅰ	1		1					
	集合と演算	1		1					
	情報工学演習Ⅱ	1			1				
	情報学	2			2				
	※Ⅰ フーリエ・ラプラス変換	1				1			
	確率	1			1				
	※Ⅰ 統計	1				1			
	※Ⅰ 情報理論	1				1			
	※Ⅰ 電磁気学	1				1			
	※Ⅰ 情報システムと技術者倫理	1				1			
	電気電子回路	2		2					
	計測工学	2			2				
	アナログ回路	2			2				
	デジタル回路	2			2				
	コンピュータ演習	1	1						
	コンピュータ工学	2		2					
	プログラミング	2		2					
	プログラミング言語	1		1					
	コンピュータシステム概論	1			1			外国人留学生除く	
	アルゴリズムとデータ構造	2			2				
	システムプログラミングⅠ	1			1				
	※Ⅰ システムプログラミングⅡ	1				1			
	※Ⅰ コンピュータアーキテクチャ	2				2			
	※Ⅰ ソフトウェア工学	1				1			
	※Ⅰ データベース	1				1			
	※Ⅰ オペレーティングシステムⅠ	1				1			
	工学セミナー	1				1			
	特別講義	1				1			
課題発見解決プロジェクトⅡ	1		1						
情報電子工学概論	1			1			外国人留学生科目		
修得単位数計	69	9	10	18	20	12			
	授業科目	単位数	学年別単位数					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
選択科目	※Ⅱ 集積回路設計	2					2		
	※Ⅱ オブジェクト指向プログラミング	2					2		
	※Ⅱ コンピュータグラフィックス	2					2		
	※Ⅱ 知的情報処理	2					2		
	※Ⅱ システム数理工学	2					2		
	※Ⅱ ネットワークアーキテクチャ	2				2		注①	
	※Ⅱ 情報通信工学	2				2			
	※Ⅱ オペレーティングシステムⅡ	2					2		
	※Ⅱ 制御工学	2					2		
	※Ⅱ デジタル回路応用	2					2		
	※Ⅱ デジタル信号処理	2					2		
	校外実習Ⅰ	1					1	注②	
	校外実習Ⅱ	2					2		
	海外研修	2			2(在学中1回のみ)				外国人留学生除く
	情報電子工学演習	2			2			外国人留学生科目	
	開設単位数計	27	2	2	2	9	20		
	外国人留学生開設単位数計	29			2	7	18		
一般科目 必修科目 修得単位数	78	26	25	16	10	1			
専門科目 必修科目 修得単位数	69	9	10	18	20	12			
一般科目 選択科目 標準修得単位数	4				3	1	(卒業時選択科目20単位以上。内専門選択科目13単位以上)		
専門科目 選択科目 標準修得単位数	16					16			
標準修得単位数 合計	167	35	35	34	63				
標準修得単位数 累計		35	70	104	139	167	学則第28条を充足すること		
特別活動	3	1	1	1			各学年ごとに履修すること		

注① ネットワークアーキテクチャ又は情報通信工学のいずれかは、卒業時までには必ず修得すること。

② 校外実習Ⅰ及び校外実習Ⅱは、重複して履修することができない。

別表第2 (第13条関係)

専門科目 土木建築工学科

※Ⅰ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業30時間、自修15時間で構成されるもの(学修単位Ⅰ)を示す。

※Ⅱ：学則第14条第2項第1号に定める学修単位のうち、授業15時間、自修30時間で構成されるもの(学修単位Ⅱ)を示す。

	授業科目	単位数	学年別単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	設計演習基礎Ⅰ	2	2					
	設計演習基礎Ⅱ	2		2				
	設計演習基礎Ⅲ	2			2			
	力と変形	1	1					
	構造力学基礎	4		2	2			
	建設材料	1	1					
	情報処理解	5	2	1	2			
	建築デザイン概論	1	1					
	建築一般構造	1			1			
	建築計画Ⅰ	2			2			
	西洋建築史	1			1			
	地盤工学基礎	2			2			
	水理学基礎	2			2			
	測量学Ⅰ	2	2					
	測量学Ⅱ	2		2				
	測量学実習	4		2	2			
	基礎工学実験	2			2			
	課題発見解決プロジェクトⅡ	1		1				
	※Ⅱ 構造力学	2				2		
	※Ⅰ 鉄筋コンクリート工学	2				2		
	鋼構造学Ⅰ	1				1		
	都市計画	2				2		
	CAD基礎	1				1		
	※Ⅰ 確率・統計	1				1		
	※Ⅰ 環境工学	1				1		
	特別講義	1					1	
※Ⅰ 技術者倫理	1					1		
卒業研究	10					10		
修得単位数計	59	9	10	18	10	12		
選択必修科目	※Ⅱ 土木設計演習Ⅰ	2				2		いずれかを修得
	※Ⅱ 建築設計演習Ⅰ	2				2		
	※Ⅱ 土木設計演習Ⅱ	2				2		いずれかを修得
	※Ⅱ 建築設計演習Ⅱ	2				2		
	※Ⅱ 土木創造演習	2				1	1	いずれかを修得
	※Ⅱ 建築創造演習	2				1	1	
	※Ⅰ 土木工学実験Ⅰ	1				1		いずれかを修得
	※Ⅰ 建築工学実験Ⅰ	1				1		
	※Ⅰ 土木工学実験Ⅱ	1					1	いずれかを修得
	※Ⅰ 建築工学実験Ⅱ	1					1	
	土木CAD応用	1				1		いずれかを修得
	建築CAD応用	1				1		
	水理学	2				2		いずれかを修得
	※Ⅰ 建築計画Ⅱ	2				2		
	※Ⅰ 河海工学Ⅰ	1				1		いずれかを修得
	※Ⅰ 近代建築史	1				1		
	※Ⅰ 土木法規	1					1	いずれかを修得
	※Ⅰ 建築法規	1					1	
	※Ⅰ 土木施工法	1					1	いずれかを修得
	※Ⅱ 建築材料学	1					1	
	※Ⅰ 地盤工学	2				2		
	※Ⅰ 日本建築史	1				1		いずれか2単位を修得
	※Ⅰ 建築施工法	1				1		
	※Ⅱ 建築構造設計	2					2	
	※Ⅰ 火災学	1					1	いずれか2単位を修得
	※Ⅰ 河海工学Ⅱ	1					1	
修得単位数計	18	0	0	0	10	8		

	授業科目	単位数	学年別単位数					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
選択科目	プレストレストコンクリート工学	1					1		
	※Ⅰ 鋼構造学Ⅱ	1					1		
	※Ⅰ メンテナンス工学	1					1		
	振動と耐震	1					1		
	道路工学Ⅰ	1				1			
	※Ⅰ 道路工学Ⅱ	1					1		
	※Ⅰ 基礎構造学	1					1		
	※Ⅰ 水環境工学	1					1		
	※Ⅰ 建設先端材料	1					1		
	※Ⅰ 建設マネジメント	1					1		
	※Ⅰ 建築環境工学	1				1			
	※Ⅰ 建築環境工学演習	1					1		
	※Ⅰ 建築設備	2					2		
	※Ⅰ 応用プログラミング	1					1		
	工学セミナー	1				1			
	校外実習1	1				1			
	校外実習2	2				2			
	海外研修	2			2(在学中1回のみ)				注
	特別測量実習	2			2			外国人留学生除く	
	特別測量学	2			2			外国人留学生科目	
	開設単位計	21	2	2	2	8	15		
	外国人留学生開設単位計	23	0	0	4	6	13		

一般科目 必修科目 修得単位数	78	26	25	16	9	2	
専門科目 必修科目 修得単位数	77	9	10	18	20	20	
一般科目 選択科目 標準修得単位数	4				3	1	(卒業時選択科目12単位以上)
専門科目 選択科目 標準修得単位数	8					8	内専門選択科目5単位以上)
標準修得単位数 合計	167	35	35	34	63		
標準修得単位数 累計		35	70	104	140	167	学則第28条を充足すること
特別活動	3	1	1	1			各学年ごとに履修すること

注 校外実習1及び校外実習2は、重複して履修することができない。





## 徳山高専への案内図

### 徳山駅前より防長交通バス運行（7番乗場）

**推薦入試**は土曜日に実施するので、下記の定期便が運行しています。

徳山駅（久米温泉口行）①→大学高専下②下車（所要約20分）→徳山高専③徒歩10分  
**学力入試当日**は、徳山駅①から徳山高専③までの臨時バスを運行します。

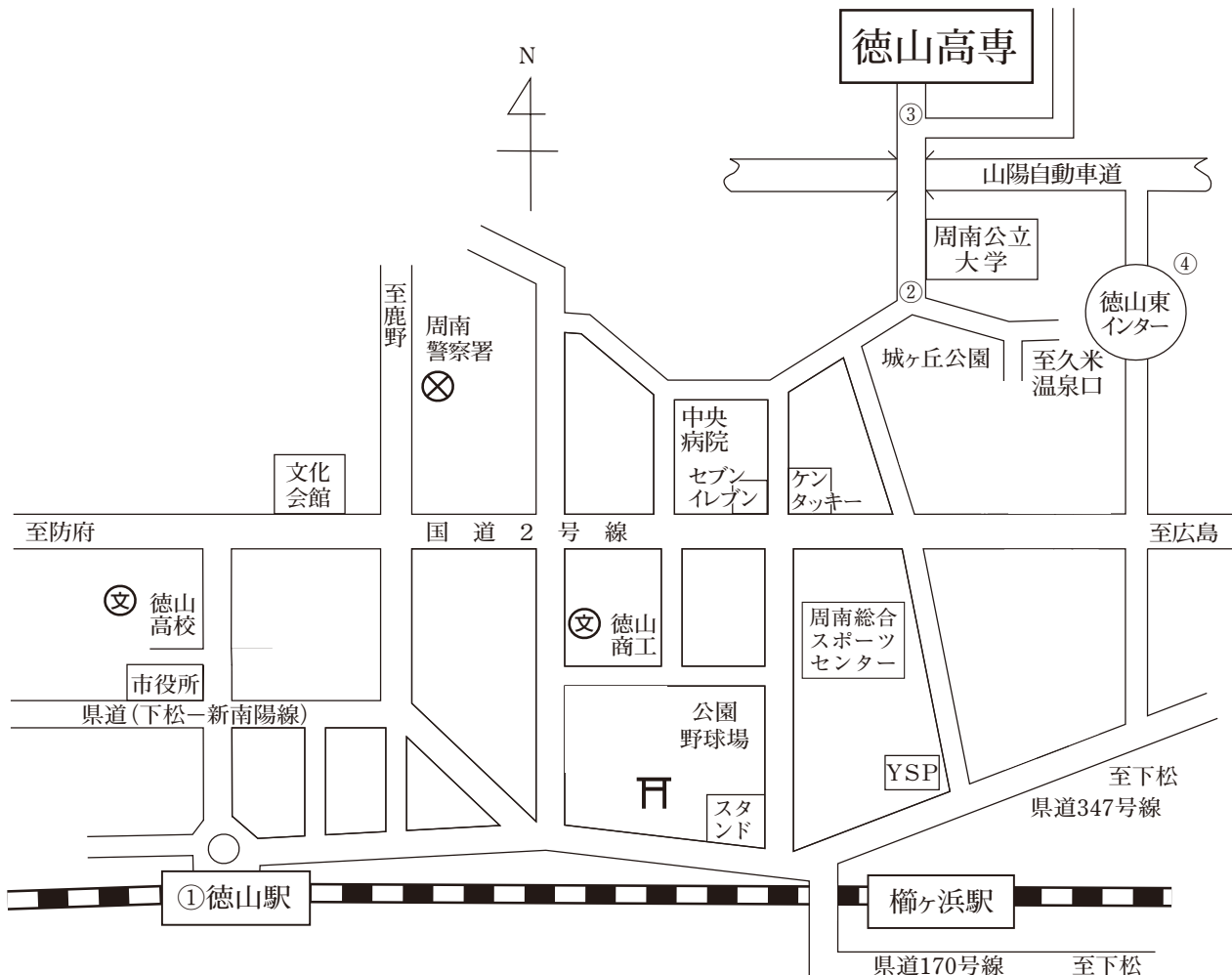
事前に各中学校へ利用調査を行います。

### タクシー利用の場合

徳山駅より	約15分	1,800円程度
櫛ヶ浜駅より	約8分	1,300円程度

### 山陽自動車道徳山東インター④から徳山高専③まで自動車で5分

※ ○番号は、地図の番号を指す。





## 岩国検査場への案内図

検査場所：岩国YMCA国際医療福祉専門学校  
岩国市麻里布町2-6-25  
交通案内 JR岩国駅から 徒歩3分

